箕面自由学園
同窓会報

豊中市宮山町４－21－１
箕面自由学園同窓会
広報委員会
TEL 06-6852-8110（学園内）
FAX 06-6147-7337
http://www.mino-jiyu.jp/
mjg-dosokai@cap.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00920－2－2458

学園生徒数が増加

二年連続で二千人台

十三年度の箕面自由学園に通う生徒数は二一七人（新学期スタート時）となった。これは十九年ぶりに二千人の大台を突破した昨年度を二七人上回る大所帯で、高校では予定していた教室を増加するなど〝うれしい誤算〟となった。

内訳をみると、高校が十六人、幼稚園が三九人の増。少数精鋭の小、中学校で減少した。しかし、高校はこの二年間で約二五〇人も増加しており、収容能力の限界に近づいている。

少子化の影響で八年前には、幼稚園から高校までの在籍者数が一三〇〇人台まで落ち込んだ。その後、積極的な教育施策を打ち出し、周辺にコツコツと浸透を図った結果、右肩上がりに転じた。

根底には学園の伝統である「明るく自由な校風」が評価されているが、個人の能力や目的に応じた独自の教育をやろう、という改革に保護者の目を向けられている。

高校では十年度から四コース制（スーパー特進、特進進学、総合進学、クラブ選抜）を導入し、軌道に乗せた。小、中学校では、少数の利点を活かした習熟度別授業で、解らないところを残さない、とする方針だ。「いじめ」がないように教師の目が教室の隅まで行き届かせている。

ハード面も「より良い環境」を目指している。幼稚園の南園舎は今年三月にリニューアルが完了して、ピンクとアイボリーホワイトの明るい上品な雰囲気になった。高校、中学校の図書室や進学指導室を新設した。

学園を訪れた卒業生にも、年々、充実しているのが実感として伝わる。同窓会としては、底辺の拡大を図りながら会の一層の結束を行い、側面からの支援を検討していきたい。

同窓会の輪を広げよう

所在不明者の連絡を

同窓会では平成二七年の創立九〇周年に向けて、会員の名簿の整備を行っています。

卒業生は年々増えており、合計すると今年度は一九四八〇人にのぼります。このうち住所がわからない同窓生は約六八〇〇人、三五％です。会報を郵送して「住所不明」で戻ってくるのが毎年六〇〇から七〇〇通あります。

社会人になると、転勤や結婚で転居するケースが多いですが、そのあと同窓会に連絡がなくて、不明となっていると思われます。不明者一覧表を作成して、配布もしています。同期生で連絡先がわかれば、一報をお願いします。

またネットのホームページでも「住所変更」が可能です。転居の際は簡単にできるホームページを活用ください。

【連絡先】
箕面自由学園同窓会事務局
〒五六〇－〇〇五六
豊中市宮山町四－二－一
（学園）
TEL ○六－六八五二－八一一〇
FAX ○六－六一四七－七三三七
メール mjg-dosokai@cap.ocn.ne.jp

第26回 学園まつり

今年は9月22日（日）！
さぁ～学園に行こう！
10時～15時まで開催されます。

倉智記念館B1Fで同窓会のつどいを行います。
軽食・飲み物あり。懐かしい顔に会えるかも。
駐車スペースはありません。車での来場は禁止します。

同期会だより

第三回ポックリ寺巡り

三三期　吉野　耕史

京都泉涌寺即成院、奈良県吉田寺に続いて今年は奈良県の阿日寺です。四月三日、参加者十一名で桜満開の二上山麓を歩きました。近鉄大阪線五位堂駅で下車、住宅街を歩き「阿日寺」に到着するもなんとお寺の定休日。本堂の拝観はできず境内からポックリ往生を祈りました。ここから奈良の田園風景を楽しみながら歩き、「道の駅、ふたかみパーク當麻」で昼食、いかにもそれらしい構えの造り酒屋でワンカップを飲みながら、左甚五郎作とも伝える一本柱の「傘堂」へ向かいます。この堂の周囲を巡れば「齢を重ねても下の世話にならず、周囲に迷惑をかけず、ある日ポックリ往生する」と伝わります。次は中将姫伝説の花の寺「石光寺」です。拝観期間外ということで受け付けは無人、拝観料なしで境内の花々を愛でました。途中、中将姫の墓に立ち寄り、當麻曼荼羅の大寺「當麻寺」を拝観、旧家連なる参道を相撲開祖當麻蹶速塚の前をすぎ、近鉄南大阪線当麻寺駅前で名物中将餅を味わい解散しました。参加者は大西、京極、桑原（谷）、須崎、葛籠（西田）、野条、福永（荒木）、松井（毛利）、松村（許）、吉城、吉野でした。

同級生のお墓参りとクラス会

三三期　引田　直哉

昭和三四年箕面自由学園小学校卒業生のクラス会が二年振りに三月九日に開催されました。このクラスは三分の二以上が女子学生で小学校から高校までを自由学園に仲良く通われた方も多数いらっしゃいます。またお子さんも自由学園に通った方もあり学園祭の見学時に偶然自由学園の坂道で親同士が三〇年ぶりに再会したり今でもファミリーなクラスです。

今回は女性達の発案で同級生の故小菅万里子さんがお亡くなりになったので、皆でお墓参りに行きませんかとの提案があり、同級生の山中さんのフランスからの一時帰国に合わせお墓参りとクラス会の同時開催となりました。

近くに住まわれている方に声をかけたら延べ十人（女性六人男性四人）の参加があり池田駅で集合し久安寺へお墓参りです、参加者の中には家のお墓が久安寺の方もありあわててご両親のお墓参りに行かれた方もあったと聞いています。

残念ながら桜はまだ咲いていませんでしたが参加者全員でお墓参りをし食事の会場である自由学園のそばの串カツのお店オリオに行きました。ここも同級生の息子さんがされていて、通常は土曜日のお昼はやってないのですが無理をお願いし開けていただきお母さんの力で特別にランチ価格で食事をさせていただきましたご馳走様でした。

その後記念撮影、からふねやでお茶、それから学校見学です今回は体育館で箕面自由学園の中学生、高校生のチヤリーダー部の合同練習を身近に見学させていただきました。初めて見たのですがすごいですね、にこにこしながら高い場所へジャンプそれを腕二本で受け止めなど素晴らしい見学をさせていただきました。全員大感激です。チヤリーダー部のみなさん今年も優勝目指して頑張ってください。

それにしてもクラスの女性群はえらいですね、同級生のお墓参りの提案などなかなかできるものではありません。次のクラス会はどうやら九〇周年の会場になりそうです。

33期

もうすぐ卒業して半世紀

三七期　宮　隆啓

「もうすぐ卒業五〇年」ということで、初等科卒業以来、初めての同窓会が平成二四年十月二七日開かれました。まずは、坂の上に集合、この辺には池があった、ヤギがいた、体育館はここ、砂場でよく相撲を取ったよなあ、二宮金次郎さんこんな所に…。思い出を求めて、丘の上を散策しました。そして、坂の途中、桂門ホールで、今や全国的にも有名になっているチアリーダー部と吹奏楽部の練習を見せてもらいました。チアリーダー部の皆さんは、笑顔を絶やさず、本当に楽しそうでいながら、すごい技を次々と見せてくれました。吹奏楽部にも迫力ある演奏で、大阪の歌メドレーを聞かせてもらいました。

昭和三八年三月に初等科を卒業したのは六〇人、今回はこのうち二二人が参加しました。椿組の広氏先生は体調がすぐれないということで、来られませんでしたが、紅葉組の岩井先生は元気に参加いただきました。

食事会は、みのお山荘・風の杜で開かれました。会場では、学園時代のスナップ写真を編集したＤＶＤを上映、修学旅行や臨海学校、運動会、学芸会の中に、少年少女時代の自分たちと再開し、いろいろなエピソードが思い起こされました。

お酒も入っての「五〇年を三分で語る」のコーナーでは、それぞれの仕事や体験、家族、孫のこと、恋愛のこと、などなど、語りつくせない五〇年と近況を報告しあい、つっこみの声もあって笑いが絶えませんでした。会の最後には、今は歌われていないそうですが、「北に箕面の山近く、南はるかに茅渟の海…」で始まる懐かしの校歌を歌い、石橋での二次会へと流れて行きました。

瞬く間に同窓会の一日は過ぎ

37期

てしまいましたが、かけがえのない小学生時代の仲間たちとの時間は、永遠の時間として、みなの胸に刻まれていました。

41期

ひさしぶりの同窓会

四一期　村井　美由起

今年四月二八日、梅田のヒルトンホテルにて第二回の同窓会を開きました。前回は五年前に十四年ぶりに集合をしていたので、今回は久しぶり～って感じのスタート。でも中には卒業以来のメンバーもいて、早いもので約二〇年経っているんだとしみじみ皆で語り合っていました。

今回は十一名の幹事が協力し合い卒業アルバムのＴＥＬ（ほとんど実家）十一クラス全部に連絡をしました。今の時代だからか、不審がられて本人に取り次いでもらえない事もあったり、あの子は箕面自由が嫌いだったからとか、寂しい答えを頂いたり、残念な気持ちになったり、心折れたり、でも幹事の目標一〇〇名集めよう!!と頑張ったおかげで当日は男性四三名、女性三九名、先生七名の八九名が集まってくれました。一〇〇名には届かなかったけど五年前の五六名より仲間が増えたので大満足です。更に人数がグッと減るであろう予測していた二次会へは六九名、三次会へも二六名と懐かしみながら、今の生活を更に元気にする為の友人とのエネルギー補給。参加者が多ければ多いほど、盛り上がるものですので有り難かったです。吉田先生、富田先生、横内先生、植田先生、中山先生、村田先生、一木先生にご参加いただけて一言ずつお言葉も頂いて、学生気分に戻れて楽しかったですね。あの頃、先生が今の私達の年齢だったりと聞くと不思議な気持ちでした。全員揃っての写真も圧巻でした。ホテルの方にもこの年代の同窓会にしてはかなり集まりがいいですね。学園の仲間意識や絆が強くてスゴいですね。と褒めて頂きました。

これからの人生も同窓生を大切に!そしてまた、五年後皆で会うことを誓って……有意義で貴重な一日を過ごしました。友人に笑顔をもらい、力をもらったので、それぞれの道を改めて、明るく楽しく過ごしてもらいたいと思います。頑張ってくださいね!また会いましょう。

お彼岸に集まろう

四七期　三原　輝久

ついこの前に五〇を越え、友人の早すぎる死をきっかけに同窓会を度々行ってきて皆の消息がだいぶつかめました。そこで春と秋の彼岸に桜井駅近辺で集まる「彼岸で宴会」を企画して二年になりました。

今年も正午に同窓会会館で集合～四時「中華料理店」～七時「居酒屋」と三部構成でいつきてもいつまでいてもいいという夢の企画が当たり三〇余名集まって旧交をまた温め楽しいひと時を味わいました。桜井駅前がロータリーになったので集合写真が撮りやすく後ろにそびえてる桜井スーパーの煙突がいい目印に写りました。もう会えないと思っていた美しかった女子の皆さんも見事に美貌は変わらず、おっさんになった人もめげる事なく会いに来てくれましてこれもひとえに会費を安く設定するのが大事であると再認識いたしました。皆さんも無理な値段で張り切るよりは安く何度も行ける同窓会をお勧めいたします。

吉田校長先生、後藤教頭先生、植田先生（引退されていました）皆さんお元気で参加して頂きありがとうございました。また来年も「彼岸で宴会!来られない人はヒガンデンカイ?!」

47期

槇野幾之輔先生を偲ぶ

永きにわたり、学園の理事長、後援会長、学校医としてお世話頂いた槇野幾之輔前理事長が十月二一日に享年九五歳で永眠されました。

平成十八年に九〇歳になるからとの理由で理事長職を勇退されましたが、幾文さん（三〇期）、厚文さん（三二期）、吉田道子さん（三五期）の三人の子女が学園に入学された関係で小学校ＰＴＡ会長を始めに、保護者の立場から理事を四六年間、その間理事長を三五年間お努めになりました。

そんな中、学園を愛する精神で、辛抱強く、校舎の増改築、校具・用具の拡充、周辺環境の整備等々、学園運営に努力を惜しまず、今日の自然豊かな希望に満ちた学園を作り上げることにご尽力されました。

また、退任されました平成十八年までの長期間、毎年巨額の寄付を欠かさず続けられ、槇野記念基金として成果著しいクラブ活動または課外活動の表彰・援助や災害を受けた在校生・職員等の見舞いを行い、現在も継続しています。

理事長を勇退された後も、平成二二年まで後援会長として役員会や後援会旅行のお世話をされ、平成二三年までは学校医として生徒・児童の健康診断や保険委員会委員長として活躍されました。健康で長生きする秘訣として「生野菜をしっかり食べるように」との助言は、多くの卒業生の記憶に残っているでしょう。

（佐々木忠）

今春の小学校卒業生合格実績

主要校のみ

［大阪府下］

箕面自由学園	24名
大阪教育大学附属池田	2名
大阪星光学院	1名
関西大学第一	3名
関西大学中等部	1名
開明	1名
清風	1名
四天王寺	1名
高槻	2名
清風南海	2名
明星	2名
金蘭千里	3名
大谷	1名
関西大倉	4名

［兵庫県下］

灘	1名
甲陽学院	1名
神戸女学院	2名
啓明学院	1名
甲南	1名
武庫川女子	1名
甲南女子	1名
雲雀丘学園	1名

［京都府下］

洛星	1名
同志社	1名
京都女子	1名

［奈良県下］

西大和学園	1名

［その他］

慶應義塾湘南藤沢	1名
愛光	1名
岡山	2名
香川誠陵	4名
中央大学附属	1名
海陽中等教育	1名
土佐塾	1名

小学校

農家で海で　体験学習

小学校校長　津村　正男

本校の教育の柱の一つは〝体験と実践〟です。本年度一学期に、新たな場所で実施した二つの行事を紹介します。

一つ目は、「ふるさと体験学校」です。五年生の社会科では米作りに励む農家を子どもたちの目や耳で確かめ肌で感じる―そんな体験学習です。今年からは、岡山県から、和歌山県白浜町へ場所を変えました。田植えの手植えをしたり、機械植えなどを見学したりして、約二時間半、体験をしました。

また、梅農家での南高梅の収穫と梅ジュース作りにも挑戦し、びん詰でお土産に持ち帰りました。宿舎は、三～四名一グループで農家へのホームステイでした。農家によっては、野菜の収穫や虫取り、ほたる鑑賞・川遊びなど多彩な活動がありました。

二つ目は、四・五年生で実施している「臨海学校」です。本年度から行事内容をより充実させるために、京都・夕日が浦から兵庫・竹野に変更。宿舎も分宿から一つのホテルにそろって宿泊しました。竹野のスノーケルセンター・ビジターセンターでは、講師の指導のもと本格的な磯観察や海ホタルの観察、塩作り、干物作りなど遠泳のみならずさまざまな体験活動も実施できました。

初日は、海に慣れることと海での講習の約束を守ることを重点におきホテル前の浜で講習会を行いました。

到着の翌日は、午前中は水泳講習を行い、遠泳記録会に向けて泳力を伸ばす練習をし、午後からは五年生は遠泳記録会、四年生は磯観察を行いました。

（三日目に四年生遠泳記録会・五年生磯観察）遠泳記録会では、五年生は最長二〇〇〇メートル、四年生は一〇〇〇メートルまで自分の泳げるところまで挑戦します。記録会参加者の約七〇％が自分の目標を達成。約四〇％の子どもたちは、一〇〇〇や二〇〇〇メートルを完泳しました。

磯観察では、箱メガネやヘラ、アミなどを使い、ヤドカリやヒトデ、アメフラシ、ウニ、タコなどいろいろな生き物を観察することができました。また、夜は、幻想的に光る海ホタルを見ることができました。

この三日間で子どもたちは、協力する大切さを感じ、お世話になった多くの方々への感謝の気持ちをはぐくむことができました。また、四年生・五年生それぞれが自分の役割を果たし、二学年間のきずなを深められた臨海学校でした。

中学校

「文」も「武」も両立へ上昇中

中学校校長　小川　義人

中学校の教育システムの中軸は、英語・数学・国語の三レベル習熟度別授業です。習熟度別システムの充実に応じて、子どもたちの学力は年々向上し、その成果は卒業生の高校合格実績や新入生の学力平均の変化に端的にみることができます。

今年度の三年生の六月実施外部模試の結果でも、関西全域五千人以上の受験者のなかで、ベスト八〇までに四名、上位三〇〇では八名が名前を連ねるという現状です。

また、中学校のもう一つの特徴となっていますフォローアップ体制も今年度より一層強化し、これまでの早朝テストに運動する毎日のフォローアップ（A）に加え、定期考査で基準点に到達できなかった生徒を対象に考査後の放課後一週間の五教科フォローアップ（B）を新設しました。これによって、中学校全体の「文」、学力レベルを高めていきたいと考えています。

もう一方の「武」ですが、関西大会準優勝をはじめ強化クラブであるチアリーダー部の実績はもとより、近年ではテニス部の活躍が目立ちはじめてきました。昨年度の夏季と秋季の豊中大会で、二年男子ダブルスでのベスト四進出、同じく一年女子ダブルスのベスト四をはじめ、秋季豊中大会での二年男子シングルスのベスト四進出と、大きな成果をあげています。

クラブ活動に参加する生徒は全校の約八〇％ほどですので、勉強も運動も頑張っている中学生の姿を目に浮かべてもらい、今後ともご支援いただけましたら有難く思います。

◆中学校卒業生合格実績◆

［箕面自由学園］

スーパー	4名
特進	11名
総合	15名
クラブ選抜	3名

［国公立］

大阪教育大学附属池田	1名
千里青雲	1名
尼崎稲園	1名
三田祥雲館	1名
尼崎北	1名
尼崎小田	1名

［他私学］

西大和学園	2名
清風南海（三カ年特進）	2名
関西大倉（特進S）	1名
関西北陽（特進）	1名
雲雀丘学園（特進）	2名
清風（文理）	1名
浪速（理数）	1名
大阪薫英女学院	1名
履正社（Ⅰ類）	1名
星槎国際	1名

［その他］

Rosebay・H・S（オーストラリア）	1名

高校　教育の質向上に向けた取り組み

高等学校教頭　小南　勝

今年度の本学園の高校は四七七名の新入生を受け入れ、高校全体で一三六二名というかつてない大世帯でスタートを切ることができました。今会報では、高等学校の教育改革のソフト面を報告します。

まず最初に、昨年度より第三者による授業観察診断を行っています。これは実際の授業を教育アドバイザーに見てもらい、生徒の姿勢から注視率、教員の表現力・制御力・準備と展開などを個々に診断するというものです。その結果、教員の発信性は一定の水準であるが、生徒達が充分にそれを享受できておらず、受信性の向上に全体で取り組むことを確認しました。第二に、授業の方法と方向の統一のためにシラバスを作成。第三に、模擬試験を使っての目標設定と結果分析の数値管理です。

これらを今年度も継続するとともに、新たに教員の授業力向上を目的に研究授業を制度化します。また、先の生徒の受信性の向上のために、クレド（信条）をクラス目標として設定、日常的意識付けを行っています。

ところで、高校改革三年目を終えて、右表にあるように勉学においては北海道大学や神戸大学など国公立大学進学者も徐々に増える一方、クラブ活動、放送部はNHK杯全国放送コンテストに出場、チアリーダー部はJAPAN　CUP三連覇を果たしました。

大学合格実績

主な大学合格者数（過去3年間）

●国公立大学

大学名	入試年度 2013	2012	2011
北海道大学	1		
北見工業大	1		
電気通信大学	1	1	
神戸大学	1		
奈良女子大学	2		
鳥取大学	1		
徳島大学		1	
公立はこだて未来大学	1		
京都府立大学		1	
大阪府立大学	1	1	
大阪市立大学		1	
兵庫県立大学			1
奈良県立大学	1	1	
岡山県立大学			1
高知工科大学			2
国公立大　合格者合計	10	6	4

●私立大学

大学名	入試年度 2013	2012	2011
関西大学	22	16	23
関西学院大学	6	6	16
同志社大学	2	8	5
立命館大学	10	9	5
関関同立	40	39	49
京都産業大学	17	12	
近畿大学	68	34	35
甲南大学	11	9	14
龍谷大学	24	18	15
産近甲龍	120	73	64
摂南大学	35	35	12
神戸学院大学	13	11	10
追手門学院大学	44	17	13
桃山学院大学	17	6	1
摂神追桃	109	69	36
大阪医科大学			1
同志社女子大学	3		2
佛教大学	9	6	9
大阪経済大学	10	12	9
大阪工業大学	27	17	11
関西外国語大学	17	8	9
甲南女子大学	16	14	11
神戸女学院大学	2	3	2
神戸女子大学	1	1	5
武庫川女子大学	9	5	8
国際基督教大学		1	
早稲田大学		1	
上智大学		1	
麻布大学		1	
北里大学		2	
日本大学	1	1	1
立命館アジア太平洋大学		1	
私立大　合格者総計	526	382	330
卒業生	413	233	271

高校チア日本一　三年連続V

チアリーディング日本選手権大会「JAPAN　CUP」が八月二四日から二日間、東京・代々木競技場で開かれ、箕面自由学園高校が三連覇を果たした。

中学校も二年ぶりで優勝し、「ダブル日本一」に輝いた。

高校のゴールデンベアーズは七月の西日本大会で二位となり、ライバルの梅花高校に水をあけられて、連覇に黄信号が灯っていた。しかし、その後、猛練習を重ね立て直しを図った。

今回の「JAPAN　CUP」では、初日の予選で梅花高に続き二位にとどまった。だが、ゴールデンベアーズは翌日の決勝で巻き返しが奏功し、一五〇秒間、ミスのないほぼパーフェクトな演技で乗り切って、逆転Vとなった。

幼稚園　子ども・保育者・保護者の活力と情熱あふれた幼稚園

幼稚園長　青木　和男

「保育は子どもを育てること、子どもを真ん中に据えて活動を支え、子どもの成長を期待し願うことです」と言われています。子ども自身が「物」「人」「自然」「社会」のあらゆる環境と多様にかかわりながら育っていく姿に「幼稚園教育は「環境」による教育だ」との言葉に納得。本園の素晴らしい自然環境はもちろんあらゆる環境に恵まれています。二一世紀の教育は、国際化・情報化を視野に入れ教育実践を図らなければなりません。グローバルな未来社会の中で生きる子どもたちに「今」どんな力を培ってやらねばならないでしょう。私たちは、次のような観点を大切に保育を推進しています。

・国際化の基礎として日本の伝統的な文化芸術や季節行事とのふれあい
・外国文化芸術にふれる体験とともに人との交流
・自らいろいろなことにチャレンジし、創意と工夫を楽しむ心
・コミュニケーション力の基礎である「聴く」「話す」経験を豊かに
・栽培活動や観察活動を通して自然の偉大さや不思議さの体験

大きく動いていく時代だからこそこれからの幼稚園は、保護者と心合わせしながら、子どもたちが生き生きと過ごす時間と空間をつくりだし充実した日々を送り、着実な育ちを期待できるようにしていきたいものです。

OB往来

平松一夫さん 世界会計学会の会長 アジア人初のトップ

三四期生で同窓会の会計監査を勤める平松一夫さんは、多忙な日々を過ごしている。関西学院大商学部の教授であり、今年二月には世界会計学会の会長に選出され、就任した。欧米が主流の中でアジア人初の学会トップに座ったのだ。「ともかく、忙しいです。各国で開催される会議に出席しなければならず、休む暇がありません」。

猛暑なのにネクタイを締めて関学の梅田キャンパスに通う。謹厳実直な人柄そのままである。でも、還暦を超えても変わらない童顔には教育者という堅苦しさはない。「いまは、授業を勘弁してもらい、ゼミだけで学生を指導しています。時間がやりくりできませんので」と笑顔で話す。

平松さんが学園の小学校に入学したのは昭和二九年（一九五四年）。能勢電の絹延橋から桜井駅へ。徒歩でまだ石ころだらけの学園坂を上った。

小学校低学年の子供にとっては毎日が冒険だった。入学から卒業までクラス替えがなく、六年間、同じ仲間で机を並べた。先生との垣根もなく、「家族的で伸び伸びとした雰囲気でした」と懐かしむ。

関学中学部に進学。人生の大きな転機を迎えた。箕面自由学園校長職でもあった矢内正一先生に出会い、薫陶を受けた。「教育者になる道を歩こうと思ったのです」。

関学高等部から商学部に入学。七五年、商学部専任講師となり、教壇に一歩を踏み出した。米ワシントン大にも学び、グローバルな視野も拡げた。八五年に商学部教授。二〇〇二年に関学大学長に就任。東京丸の内キャンパスを開設したほか、国際部新設の基礎作りに奔走した。

頭でっかちの人間では、世の中に出て役に立たない。だからゼミには毎年、アメフト部をはじめ体育会の学生をとっている。まわりの学生にも好影響を与えてくれるからだ。「一人でも、いい学生を送り出したい。それが使命ですから」。

世界会計学会は各国の十九学会、六四大学、二三会計士団体などが加盟。個人加盟は二五〇〇人、各団体の会員数を合わせると、一〇〇万人にのぼる。その巨大組織の頂点にいるが、課題は山積している。

「各国でバラバラな会計基準をどうするか。できる限りのことはやるつもりです」。言葉はどこまでも実直である。

第22回 関東支部総会・懇親会お知らせ

日　時　平成25年10月12日（土）　12時～15時
場　所　KKRホテル東京
東京都千代田区大手町1－4－1
TEL 03－3287－2921
会　費　9,000円（但し30歳まで半額）
アクセス　営団地下鉄東西線「竹橋駅」　3B出口直結、皇居に面した内堀沿い、専用駐車場あります。
連絡先　代表幹事　長尾　益夫（30期）
E-mail:AND47756@nifty.com
事務局　奥田　良子（34期）TEL 0422-46-8983

関東支部総会報告

四九期　富松　万紀子

第二一回関東支部総会及び懇親会が、昨年十月十六日に皇居近くのKKRホテル東京で開催されました。

今回の出席は三八名。二年前と同じ出席数で、昨年よりは五名増え、同窓会会長・平野昌雄さん、高等学校校長・吉田忍先生と元体育教師・島本葉子先生も大阪からご出席下さり大変賑やかな会になった。今回も四二期で俳優・升毅さんと一期後輩で映画監督・山田大樹さん（映画「じんじん」を監督）もご出席になりました。

三時間はあっという間で、ホテルロビーのカフェレストランにて二次会。さらに三次会?の会場、四五期の米山義高さんの神楽坂「鮨処よね山」に流れる人もいた。若い人の出席が少なく四九期の私から今回は六九期の坂田恒吾君まで、なんと二〇期も飛ぶ（苦笑）何とか若い者を増やさないといけない、と大先輩方がスピーチされました。関東近辺在住の方、次回は是非ご出席をお願いします。

はじめての個展 ペンシル画の杉山榮祐さん

学園時代からデザインに興味を持ち、日本大学芸術学部を卒業後、自動車関連のデザインを糧としていたが、突然カメラとペンを持ち、アフリカをブラブラ旅五〇〇日間を経験した。

帰国後、いろいろな職業に就いた。結婚して千葉の田舎で、有機農業の米作りもやった。ここ十年ほど前に、遺跡発掘の仕事をしながら、ペンシル画を書き始めた。モチーフは女性。すなわち、それは母であり、妻であり、娘であると、杉山君は語ってくれた。

細い鉛筆一本で、あたかもモノクロ写真を見るがごとく描かれたペンシル画である。黒髪の艶のグラディションが見事に描かれており、同じ画を白黒反転したペアーの作品である。今年一月、東京・八重洲口のギャラリーで初めて個展を開いた「人類は女性から生まれ、世の中すべてポジとネガで表現できる」という。今は完全リタイヤし、これからは好きな事が出来ると常に前向きだ。

（亀井真人）

映画「じんじん」の監督　山田大樹さん

今年に公開された映画「じんじん」は、北海道を舞台に親と子の愛情を描いた話題作である。〈夕張国際ファンタスティック映画祭〉でファンタランド大賞を受賞するなど高い評価を受けているが、その監督をしたのが四三期生の山田大樹さんだ。「難しい映画ではありません。リラックスして観てもらえたら、と思って撮りました」。

大地康雄さんが演じる主人公は離婚して一人暮らしの大道芸人。北海道・剣淵町で農業をしている幼なじみの手伝いに出かけて、都会の女子高校生と知り合う。そして剣淵町が町おこしに行っている「絵本の読み聞かせ運動」の中でストーリーが展開していく。大手映画社ではない独立系だが、東京、大阪でも順次上映された。「観た方に良かった、といってもらえ、その口コミで徐々に上映が増えていく。こんなうれしいことはありません」と、山田さんは話す。

順風満帆の人生ではなかった。高校時代は剣道部の主将だった。さまざまな出来事があり、「もう学校にはいられない」と考えた時、担任の伊藤先生や剣道部の植田先生に支えられた。「お二人の先生には心から感謝しています」。北摂大会の優勝で気持ちも一新して卒業できた、という。大阪体育大に進学。教員を目指したが、「自分のやりたい道とは違う」と中退。ボクシングやアパレル業界に身を置いた。でも「好きな映画の世界に」と二三歳で飛び込んだ。小ブロダクションで一年過ごしてフリーになった。何の伝手も蓄積もなかった。「ただ勉強するだけでした」。地道な努力にチャンスがくる。一九八六年、「南に走れ、海の道を！」で助監督を務め、翌八七年に「湘南暴走族」で初めてメガホンをとった。その後もテレビの二時間ドラマシリーズ「捜し屋★諸星光介が走る」も手掛けた。業界での人脈も広がった。「じんじん」を企画した大地康雄もその一人だ。

「じんじん」は北海道の大自然の中で、人々の優しさが交錯していく。さらっとしたラストが印象的で、山田さんの確かな手腕を感じさせる。

最後に「箕面自由学園での三年間はどうでしたか」と問うと、すぐさまに言った。「誇りです」。

同窓会費の納付をお願い致します

「終身会費 30,000円」　「年会費 2,000円」

（18才未満及び75才以上は会費免除。）

〈終身会費納入方法〉

●終身会費による一括支払い。
終身会費制度があります。お近くの郵便局から、下記の郵便口座に3万円を送金していただくだけで、毎年の年会費の送金は不要です。

●お持ちの学校債を、終身会費に切り替える。
学校債償還時の振替依頼書に「3万円を同窓会終身会費に振替え」を選択いただき、学園事務部、又は同窓会に提出ください。

〈年会費納入方法〉

●郵便局から送金する。（毎年、送金が必要です。）
お近くの郵便局から、下記の郵便振替口座に送金してください。

●あなたの銀行口座から、自動引き落とし。
所定の用紙に署名、捺印してお送りください。毎年5月12日に銀行口座から自動的に引き落とします。
用紙請求先　同窓会、又は学園事務部。

【送金先】郵便振替口座番号　00920-2-2458
口座名　箕面自由学園同窓会

同窓会報に同封している郵便振替用紙をお使いいただくと、振込手数料は不要です。

平成25年度予算

自平成25年４月１日～至平成26年３月31日（単位円）

収入の部

科目	25年度予算額	24年度予算額	差異	備考
入会金	5,600,000	5,500,000	100,000	幼75名,小160名,中45名,高380名 計560名
年会費	250,000	350,000	△ 100,000	
終身会費	1,350,000	1,050,000	300,000	
受取利息	1,050,000	1,000,000	50,000	
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
基金収入	0	0	0	
前年度繰越金	7,523,159	7,508,227	14,932	
収入計	15,773,159	15,408,227	364,932	

支出の部

科目	25年度予算額	24年度予算額	差異	備考
総会事業費	200,000	200,000	0	学園まつり、他
事務局運営費	1,210,000	1,100,000	110,000	職員給与、同交通費
事務消耗品費	120,000	120,000	0	消耗備品、他
旅費交通費	180,000	180,000	0	東京支部会出席、副会長役員会出席、
什器備品費	70,000	250,000	△ 180,000	同窓会室什器・備品、パソコン周辺器具、他
通信費	1,530,000	1,350,000	180,000	会報発送、プロバイダー関連、電話・郵便、不明者調査他
印刷費	540,000	650,000	△ 110,000	会報印刷、卒業生一覧、他
課外活動報奨費	850,000	850,000	0	クラブ活動表彰、他
渉外費	860,000	850,000	10,000	卒業記念品、協賛金、他
会議費	80,000	50,000	30,000	
慶弔費	30,000	10,000	20,000	
支払手数料	70,000	70,000	0	振替・振込手数料、他
雑費	10,000	10,000	0	
租税公課	10,000	10,000	0	
寄付金支出	0	0	0	
基金支出	3,000,000	3,000,000	0	基金に繰入≪両年事業基金積立、通常基金積立（学校債）≫
関東支部関連費	200,000	0	200,000	
次年度繰越金	6,813,159	6,708,227	104,932	
支出計	15,773,159	15,408,227	364,932	

基金の収支

科目	25年度予算額	24年度決算額	昨年度との差異	備考
前年度繰越額	54,209,371	51,209,371	3,000,000	
当期繰入額	3,000,000	3,000,000	0	基金支出から繰入
当期取崩額	0	0	0	
次年度繰越額	57,209,371	54,209,371	3,000,000	

平成24年度決算

自平成24年４月１日～至平成25年３月31日（単位円）

収入の部

科目	24年度予算額	24年度決算額	差異	備考
入会金	5,500,000	5,420,000	△ 80,000	幼63名、小156名、中38名、高385名　合計542名
年会費	350,000	225,731	△ 124,269	
終身会費	1,050,000	1,260,000	210,000	
受取利息	1,000,000	1,113,072	113,072	
寄付金収入	0	10,847	10,847	
雑収入	0	112,600	112,600	学園まつり後援会負担分、新年役員会会費徴収
基金収入	0	0	0	
前年度繰越金	7,508,227	7,508,227	0	
収入計	15,408,227	15,650,477	242,250	

支出の部

科目	24年度予算額	24年度決算額	差異	備考
総会事業費	200,000	184,200	△ 15,800	学園まつり
事務局運営費	1,100,000	1,222,939	122,939	職員給与、同交通費
事務消耗品費	120,000	35,866	△ 84,134	
旅費交通費	180,000	173,640	△ 6,360	関東支部参加、副会長役員会出席 他
什器備品費	250,000	0	△ 250,000	
通信費	1,350,000	1,363,803	13,803	会報送付 、電話・通信 他
印刷費	650,000	422,100	△ 227,900	会報印刷、卒業生一覧
課外活動報奨費	850,000	686,000	△ 164,000	
渉外費	850,000	802,190	△ 47,810	高校卒業記念品、幼・小・中後援、クラブ協賛
会議費	50,000	134,194	84,194	役員会　他
慶弔費	10,000	27,341	17,341	
支払手数料	70,000	43,228	△ 26,772	振替貯金手数料、振込手数料 他
雑費	10,000	0	△ 10,000	
租税公課	10,000	31,817	21,817	
寄付金支出	0	0	0	
基金支出	3,000,000	3,000,000	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越金	6,708,227	7,523,159	814,932	
支出計	15,408,227	15,650,477	242,250	

統括表

科目	24年度予算額	24年度決算額	差異	備考
前年度繰越金	7,508,227	7,508,227	0	
当期収入	7,900,000	8,142,250	242,250	
当期支出	5,700,000	5,127,318	△ 572,682	
基金支出	3,000,000	3,000,000	0	
次年度繰越金額	6,708,227	7,523,159	814,932	

財務委員長 飯塚さんが急逝

当同窓会財政委員長の飯塚春生氏が六月二十七日に亡くなられました。

昨年十月二十三日に三十三期の仲間六人で韓国・済州島へ四泊五日の旅を彼の企画で行きました。二日目に大型タクシーをチャターして島内観光。夕食は運転手お勧めのアワビ料理店で快食、痛飲、楽しい時間を過ごしてホテルへ帰る直前に、突然に倒れられた。同行の我々はなすすべもなく、おろおろと見ているだけでしたが、韓国人運転手の懸命の人工呼吸と、同地の医師・看護士の適切な処置で、心筋梗塞による最悪の死からは免れましたが、意識が戻りませんでした。一ヶ月程の現地での治療の後、医師、看護士の付添のもと帰国をし、国内での治療を続けておられました。しかし八ヶ月余りの闘病も実らず、意識が回復しないまま旅立たれてしまいました。

旅行のスケジュールや、ホテル等の手配、旅行中の会計係を買って出るなど、ほとんど彼にまかせっぱなしで、無理をさせてしまったのではないかと、悔まれます。

倒れる直前までの楽しそうな彼の笑顔が、残された我々にとっては救いです。

彼を失った喪失感はこれからより大きくなっていくでしょうが、彼に負けずに一杯の笑顔で皆で過していきます。合掌

松村　寿夫

第5回MJG同窓会ゴルフ大会

日　時　平成25年10月14日（月・祝）　9時30分

場　所　有馬ロイヤルゴルフクラブ ノーブルコース
（神戸市北区淡河町北畑571）

参加費　17,000円（会費、プレー、昼食、会食代含む）
※同窓会より補助金あり

申込み　有馬ロイヤル（078-958-0121）
【申込み締め切り 9月30日】
山本支配人又は岸野営業部長まで

同窓会ゴルフコンペは今年も楽しくにぎやかな会になりますよう、多くのOB・OGの参加をお待ちしております。

世話人　葛村・大林・木村（31期）

訃報

北條　房子（旧姓上善）	20期
宇野　通男	43期
相澤嘉久雄	旧職員
榎本　泰清	28期
加藤　和子（旧姓滝野）	2期
竹内　正文	19期
大塚　浩良	39期
奥谷　清隆	39期
阪上　宗博	30期
松田　充弘	30期
加藤　壽三	50期
池田　有	19期
塩田　正子（旧姓斎藤）	25期
飯塚　春生	33期
風井　訟恭	旧職員
永易　了	36期
高橋　誠司	12期
上田裕之亮（英剛）	21期
竹内　善紀	29期
伊藤　庄八（四辻昭夫）	29期
谷田　圭三	40期
佐多　順亮（旧姓浅田）	7期
井上　思朗	14期

編集後記

ご寄稿にお礼申しあげます。今号文字を大きくしました。いかがですか。

◎前号二頁に橋下雅夫さんとあるのは**橋本雅夫**さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

平成26年度　募集要項

※学費（保育料）・諸費は平成25年度実績です。

幼稚園

募集人員　3年保育 62名　2年保育 23名　1年保育 若干名
申込料　3,000円
願書受付　平成25年10月1日（火）
面接日　10月2日（水）　面接・入園手続
入園金　3年保育　110,000円
2年保育　100,000円
1年保育　90,000円
保育料（月額）　3年保育　24,000円
1・2年保育　23,000円
諸費　PTA会費、後援会費、給食費、積立金、バス代（利用者のみ）
【保育見学会と募集説明会】
平成25年9月6日（金）　9:45 受付、10:00 開始
【体験入園と募集説明会】
平成25年9月14日（土）　9:45 受付、10:00 開始

小学校

募集人員　70名（男・女）
検定料　15,000円
願書受付　平成25年9月26日（木）～ 10月3日（木）
選考期日　（面接）10月7日（月）～9日（水）
（試験）10月12日（土）
合格発表　10月12日（土）　速達郵送
平成25年11月16日（土）にB入試、平成26年2月8日（土）にC入試を行います。
入学金　220,000円（内部進学110,000円）
学費（年額）　（授業料）474,000円　（施設費）36,000円
諸費　PTA会費、後援会費、給食費、積立金（学級費・体験費用）

中学校

募集人員　70名（男・女）
検定料　16,000円
選考内容　国語・算数の2教科型・理科または社会を加えた3教科型の学力テスト
【A日程】　願書受付　平成26年1月11日（土）～17日（金）
入試日　1月18日（土）
【B日程】　願書受付　平成26年1月11日（土）～17日（金）
入試日　1月19日（日）
【C日程】　願書受付　平成26年1月11日（土）～22日（水）
入試日　1月23日（木）
【後期入試】　願書受付　平成26年1月28日（火）、29日（水）
入試日　1月30日（木）
合格発表　入試日の翌日、速達郵便で発送
入学金　220,000円（内部進学110,000円）
学費（年額）　（授業料）546,000円　（施設費）36,000円
諸費　PTA会費、後援会費、自治会費、積立金（教材費・行事費）
【入試説明会】　第1回 平成25年 9月 7日（土）9:00受付 9:30開始　体験授業・クラブ体験あり
第2回 平成26年 1月11日（土）9:00受付 9:30開始
【プレテスト】　第1回 平成25年10月12日（土）8:30受付 9:00開始　体験授業・クラブ体験あり
第2回 平成25年11月 9日（土）8:30受付 9:00開始
第3回 平成25年11月30日（土）8:30受付 9:00開始
平成25年12月 1日（日）8:30受付 9:00開始
※11月30・12月1日はいずれかの日程を選択（両日受験は不可）

高等学校

募集人員　440名（男・女）
【スーパー特進コース 30名・特別進学コース 180名
総合進学コース 160名・クラブ選抜コース 70名】
検定料　16,000円（願書提出前に銀行振込）
選考内容　①学力テスト
スーパー特進コース・特別進学コース・総合進学コース：国語・数学・英語・理科・社会の5教科
クラブ選抜コース：国語・数学・英語の3教科
②面接（スーパー特進コース・特別進学コース・総合進学コースの専願受験者のみ）
願書受付　平成26年1月23日（木）～1月31日（金）
選考期日　（学力テスト）2月10日（月）
（面接）2月11日（火・祝）
合格発表　2月13日（木）　速達郵便で発送
入学金　220,000円（内部進学110,000円）
学費（年額）　（授業料）546,000円　（施設費）36,000円
諸費　PTA会費、後援会費、自治会費、積立金
【オープンキャンパス】平成25年9月28日（土）　13:30受付　14:00開始
【入試説明会】平成25年11月16日（土）、11月30日（土）、12月7日（土）、
いずれも13:30受付　14:00開始